

特定非営利活動法人  
足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわ

# 2018 年度法人総会 議案書



※写真（左上から時計回りに）

パタゴニア丸の内ストア・ソーラー発電づくりWS (4/9) / 江戸川区環境フェア (6/3) / 設立 20 周年記念イベント「えどがわみらいカフェ」(6/4) / あいおいニッセイ同和損保寄付金寄贈式 (12/8)

**第 1 号議案 2017 年度事業報告**

**第 2 号議案 2017 年度会計決算報告**

**第 3 号議案 2018 年度事業計画（案）**

**第 4 号議案 2018 年度会計予算（案）**

**第 5 号議案 定款の一部変更**

**2018 年 6 月 3 日 11:30～12:30**

**タワーホール船堀 研修室**

## 第1号議案 2017年度事業報告

気候変動問題をめぐる動向では、欧州を中心にガソリン車の廃止や石炭火力発電所の閉鎖といった脱化石燃料の動きが広がる中で、世界では再生可能エネルギー導入が急速に進み、日本国内でも使用電力の100%を再生可能エネルギーでまかなう企業が現れている。しかし、旧電力会社は送配電網の空き容量が少ないことを理由に再生可能エネルギー導入を抑制し、現政権は原発の再稼働だけでなく、原発輸出さえ進めようとしており、そのエネルギー政策には与党からも疑問の声が上がっている。これに対して野党は原発ゼロ基本法案を国会に提出し、ようやく脱原発が政治の場で議論される状況になった。

本会は、設立20周年記念イベント「えどがわみらいカフェ」を開催し、これまでの足跡を振り返りながら、新たな活動のヒントを得る機会となった。「みんな電力」や「パタゴニア丸の内ストア」との連携を進める一方で、江戸川区「第二次エコタウンえどがわ推進計画」の策定では、策定委員会の一員として一定の役割を示した。また、これまでの活動に対して「あいおいニッセイ同和損保」から寄付金贈呈もあった。一方、メンバーの固定化と共に、メンバー個々の活動量が限られる事態が常態化しており、新たな運営メンバー獲得の必要性が認識されるようになった。20周年を迎え、これからの活動に向けた展望と課題が見えた1年となった。

### ●特定非営利活動に係る事業

#### 1. 家庭・地域における省エネアクションプランの作成とキャンペーンの実施

「全国節電所フォーラム2015」実行委員会参加団体に、市民側による戦略会議開催を呼びかけた結果、低所得者向け省エネ事業の可能性検討や小売店舗における温度調査を行い、冷房による冷え過ぎについてイオン本社との意見交換(10月)につなげた。また、第2次エコタウンえどがわ推進計画の策定委員会に参画し、省エネ家電の買い替え等について提案することができた。

##### <自己評価>

企業との意見交換や計画づくりへの参画といった機会を得て、家庭・地域での省エネ活動推進に向けた事業やキャンペーンの具体化が求められる。

#### 2. 地球温暖化やエネルギー等環境問題に関する研修会の実施等の啓発教育

2017年6月に定期総会開催にあわせて設立20周年イベント「えどがわみらいカフェ」を開催したほか、江戸川区環境フェアへの出展(6月)、エネルギーカフェinえどがわ(1~3月)を開催した。また、他団体が主催するセミナーや学習会への講師派遣を8回行った。

##### <講師派遣実績>

- ① 日本YWCA 福島高校生「みんなでエネフェス！」(6/24)
- ② やまがた自然エネルギーネットワーク(8/20)
- ③ 自然エネルギーをすすめる我孫子の会(8/21)
- ④ 鹿沼市民共同発電所準備会(11/12)
- ⑤ 江戸川総合人生大学(1/17)
- ⑥ A SEED JAPAN「このデンキがヤバイフォーラム」(2/10)
- ⑦ パタゴニア丸の内ストア省エネゲーム(3/17)
- ⑧ パタゴニア丸の内ストア環境井戸端会議(3/30)

##### <自己評価>

20周年イベントやエネルギーカフェについては周知が十分でなく参加者が少数にとどまった。今後の事業実施にあたっては、早期の企画立案と周知活動に努めていく。

#### 3. 市民出資による自然エネルギー発電所の建設と運営

発電事業などをPRするため掲示用タペストリーを作成した。また、視察受け入れでは、「埼玉生活クラブ生協」(5月)、「台湾緑色公民運動連盟」(6月)、岩崎駿介氏(7月)、「台湾佛光大学」(11月)、「韓国自然の友研究所」(2月)からの視察を受け入れ、事業説明や意見交換を行うことができた。

## <自己評価>

視察受け入れでは、海外の方が国内を上回った。国内で動きを広げていくためには、国内関連団体や区民向けに視察先としてアピールしていく必要がある。

## 4. 地球温暖化防止のための地域行政、国、国際社会、市民への政策提言

江戸川区「第2次エコタウンえどがわ推進計画」の策定委員会に委員として参加し、地域新電力会社の設立などの提案が計画に盛り込まれた。また、都議会都民ファーストの環境建設委員会所属議員との意見交換（9月）を行うとともに、東京・生活者ネットワーク「市民と行政の協議会」（2月）では実行委員会の立ち上げや当日の運営に参画した。

## <自己評価>

様々な機会を捉えて政策提言につながる活動ができたが、これを継続的な話し合いの場にステップアップしていく必要がある。

## 5. 国内外で開催される、気候変動枠組み条約関連会議への参加やキャンペーンの実施

「気候ネットワーク」や「ストップフロン全国連絡会」の運営に理事として参画すると共に、「パワーシフトキャンペーン」の活動に参加してきた。

## <自己評価>

参加にとどまらず、具体的な活動を行うことで、地域活動の必要性を訴えていく必要がある。

## 6. 政府機関、自治体、事業者、市民、NGOとの交流、連絡提携

環境フェアへの出展（6月）において、「みんな電力」の協力の下に電力自由化セミナーを開催し、その参加者には「パタゴニア丸の内ストア」提供のプロビジョンズフーズを供するといった連携ができた。また、「エコメッセ元気力発電所」「さようなら原発江戸川連絡会」「えどがわエコセンター」の運営に参画しつつ、オフグリッドハウス松江の家の運用では「江戸川子どもおんぶず」と連携してきた。また、「日本YWCA」による福島高校生の再生エネイベント企画（6～9月）でコーディネーターを務めた。

## <自己評価>

諸団体との交流が広がる中で、具体的なアクションに向けた提携が進んできた。こうした連携を強めることで、活動の多様化につなげていくよう努める。

## 7. 本法人の目的および地球環境問題全般に関する調査研究および情報の収集と提供

ホームページとフェイスブックの連動による時宜に適した情報発信に努めてきたが、『あしもと通信』の発行はVol.86（8月）とVol.87（11月）の2号にとどまった。調査研究では、「地域生活研究所」エネルギー研究会に参加する一方で、「再生可能エネルギー日独国際会議」（9月・長野）、「市民・地域共同発電所全国フォーラム」（11月・福島）に出席し、最新の知見を得ることができた。また、東京MXテレビ「トウキョウもっと元気研究所」の取材（10月）に対応し、活動を紹介することができた。

## <自己評価>

『あしもと通信』発行が昨年度の3号から2号に減り、季刊を維持できない状況にある。会の運営体制を踏まえて、ページ数や発行回数の変更を検討する必要がある。

## ●その他の活動に係る事業

### 1. 発電にかかる事業

えど・そら1～3号機まで概ね想定通りの発電量を確保できた。また、5周年に向けて出資者に提供する消費財やサービスなどのメニュー開発に向けた情報収集に努めた。

## <自己評価>

単なる発電事業ではなく、エネルギーシフトに向けた情報発信拠点となるよう、供給先である「みんな電力」とのさらなる連携強化を図っていく必要がある。

## 2017年度 事業活動日誌

- 4月09日 パタゴニア丸の内ストアで自立電源づくりWSを開催
- 4月10日 ●第1回運営委員会
- 4月15日 山田岳さんを偲ぶ会に出席
- 5月07日 ◇生活クラブ生協埼玉からの視察受け入れ
- 5月17日 ●第2回運営委員会
- 6月01日 ◇台湾緑色公民運動連盟・頼理事が来訪
- 6月03日 江戸川区環境フェア2017に出展
- 6月04日 設立20周年記念イベント「えどがわみらいカフェ」を開催
- 6月10日 ◇一般社団法人あびこ自然エネルギーが来訪
- 6月15日 としまでエネルギーを考える会講演会に参加
- 6月17日 気候ネットワーク2017年総会に出席
- 6月24日 ◇日本YWCA福島高校生「みんなでエネフェス！」キックオフイベントに出講
- 6月28日 ●第3回運営委員会
- 7月07日 パタゴニア丸の内ストア「Granted Firm Festival」に参加
- 7月08日 えど・そら3号機&松江の家見学会を開催
- 7月22日 岩崎駿介さんらが視察に来訪
- 7月25日 エコタウンえどがわ推進計画策定委員会（第1回）に出席  
●第4回運営委員会
- 8月20日 ◇やまがた自然エネルギーネットワークに出講
- 8月26日 ◇自然エネルギーをすすめる我孫子の会に出講
- 9月02日 福島高校生「みんなでエネフェス！」に参加
- 9月08日 再生可能エネルギー日独国際会議（長野）に参加（～9日）
- 9月15日 都議会都民ファースト環境・建設委員会との懇談に参加  
エコタウンえどがわ推進計画策定委員会（第2回）に出席
- 9月21日 ●第5回運営委員会
- 10月01日 東京都スイソミル（水素エネルギー交流館）を見学
- 10月08日 ◇東京MXテレビ番組「トウキョウもっと元気研究所」取材対応
- 10月16日 ●第6回運営委員会
- 10月26日 イオンと店舗内の冷房に関する意見交換に参加
- 10月31日 地域生活研究所公開研究会「アメリカの電力協同組合」に参加
- 11月02日 地域・市民共同発電所全国フォーラム in 福島に参加（～3日）
- 11月12日 ◇鹿沼市民共同発電所準備会に出講
- 11月17日 ◇台湾佛光大学高淑芬教授（社会学）が来訪
- 11月18日 えど・そら4周年交流会を開催
- 11月20日 ●第7回運営委員会
- 11月21日 エコタウンえどがわ推進計画策定委員会（第3回）に出席
- 11月25日 えどがわエコセンター非電化工房バスツアーに参加
- 12月01日 松江の家バッテリー交換・接続作業
- 12月08日 あいおいニッセイ同和損保より寄付金の寄贈を受ける
- 12月13日 ●第8回運営委員会
- 12月23日 小松川市民ファーム忘年会
- 1月12日 エコタウンえどがわ推進計画策定委員会（第4回）に出席
- 1月17日 ◇江戸川総合人生大学に出講
- 1月18日 ●第9回運営委員会
- 1月20日 エネルギーカフェ in えどがわ（第1回）を開催。以後、2/2、2/17、3/3と全4回開催
- 2月09日 ◇韓国・自然の友研究所が来訪  
都議会・市民と行政の協議会「エネルギーで地域経済をまわす」に参加
- 2月10日 ◇A SEED JAPAN「このデンキがヤバイフォーラム」に出講
- 2月14日 ●第10回運営委員会
- 2月23日 市民電力連絡会総会&記念講演会に参加
- 3月10日 町田市民電力(株)生活クラブ館まちだ市民発電所式典&見学会に出席
- 3月14日 ●第11回運営委員会
- 3月17日 パタゴニア丸の内ストアでスタッフ向けに省エネゲームを開催
- 3月30日 ◇パタゴニア丸の内ストア環境井戸端会議に出講

## 第2号議案 2017年度会計決算報告

### 1) 活動計算書

(単位:円)

	非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
売電売上	0	2,497,580	2,497,580
会員会費収入	12,000	0	12,000
寄付金収入	86,830	0	86,830
講師派遣収入	182,500	0	182,500
その他収入	494,340	659	494,999
受取利息	0	4,615	4,615
経常収益計	775,670	2,502,854	3,278,524
II 経常費用			
1. 事業費			
福利厚生費	3,000	0	3,000
広告宣伝費	7,960	0	7,960
会議費	58,803	0	58,803
備品消耗品費	37,041	41,040	78,081
修繕費	40,000	0	40,000
電気料金	0	25,809	25,809
諸会費	25,000	0	25,000
支払手数料	972	1,512	2,484
地代家賃	0	64,800	64,800
保険料	0	74,620	74,620
教材費	40,000	0	40,000
減価償却費	0	1,425,357	1,425,357
貸倒損失	20,000	0	20,000
支払利息	0	39,046	39,046
2. 管理費			
会議費	81,521	263,044	344,565
旅費交通費	7,320	23,620	30,940
通信費	28,256	91,175	119,431
備品消耗品費	3,272	10,559	13,831
支払手数料	2,494	8,048	10,542
地代家賃	14,195	45,805	60,000
支払報酬料	20,441	65,959	86,400
印刷費	15,203	49,057	64,260
経常費用計	405,478	2,229,451	2,634,929
当期経常増減額	370,192	273,403	643,595
経理区分振替額			0
税引前当期正味財産増減額			643,595
法人税、住民税及び事業税			108,839
当期正味財産増減額			534,756
前期繰越正味財産			1,478,842
次期繰越正味財産			2,013,598

## 2) 貸借対照表

(単位:円)

科目	金額	
<b>I 資産の部</b>		
1. 流動資産		
現金	0	
普通預金	5,054,463	
売掛金	540,611	
流動資産合計		5,595,074
2. 固定資産		
(1)有形固定資産		
機械装置	10,653,956	
有形固定資産計	10,653,956	
(2)無形固定資産	0	
(3)投資その他の資産		
出資金	50,000	
投資その他の資産計	50,000	
固定資産合計		10,703,956
資産合計		16,299,030
<b>II 負債合計</b>		
1. 流動負債		
未払金	204,432	
未払法人税等	108,000	
流動負債計		312,432
2. 固定負債		
えど・そら債	11,500,000	
こましん融資	2,473,000	
固定負債合計		13,973,000
負債合計		14,285,432
<b>III 正味財産の部</b>		
前期繰越正味財産		1,478,842
当期正味財産増減額		534,756
正味財産合計		2,013,598
負債及び正味財産合計		16,299,030

### 3) 財産目録

(単位:円)

科目	金額	
<b>I 資産の部</b>		
1. 流動資産		
手元現金	0	
普通預金		
三菱東京UFJ銀行 小松川支店	999,945	
小松川信用金庫 菅原橋支店	1,042,805	
ゆうちょ銀行 振替口座	7,815	
小松川信用金庫 定期預金	1,923,898	
小松川信用金庫 定期積立	1,080,000	
売掛金		
売電料	540,611	
流動資産合計		5,595,074
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
機械装置(太陽光パネル5ヶ所)	10,653,956	
有形固定資産計	10,653,956	
(2) 無形固定資産	0	
(3) 投資その他の資産		
出資金(小松川信用金庫)	50,000	
投資その他の資産計	50,000	
固定資産合計		10,703,956
資産合計		16,299,030
<b>II 負債合計</b>		
1. 流動負債		
未払金		
事務所家賃及びインターネット使用料	108,000	
屋根賃貸料	64,800	
その他(電気料金等)	31,632	
未払法人税等	108,000	
流動負債計		312,432
2. 固定負債		
えど・そら債 1号	5,000,000	
えど・そら債 2号	4,000,000	
えど・そら債 3号	2,500,000	
こましん えどそら3号融資	2,473,000	
固定負債合計		13,973,000
負債合計		14,285,432
<b>III 正味財産の部</b>		
前期繰越正味財産	1,478,842	
当期正味財産増減額	534,756	
正味財産合計		2,013,598
負債及び正味財産合計		16,299,030

監査の結果、上記のとおり相違ありません。

2018年5月22日

監事 館岡 景子 

## 第3号議案 2018年度事業計画案

### ★脱原発・低炭素社会に向けた可能性の実践と提案

先日、政府は新たなエネルギー基本計画を示したが、再生可能エネルギーを主力電源化する一方で、原発については重要なベースロード電源との位置づけを変えず、原発のエネルギー比率も変えていない。送電線の空き容量不足を理由に再生可能エネルギーの導入が抑えられ、再生可能エネルギー産業による雇用者は減少に転じた。東京電力・福島第一原発事故を経験した日本において、再生可能エネルギーへのシフトに逆行する政府のエネルギー政策は、未来世代にツケをまわし、安心・安全とは程遠い状況に向かわせるものと言える。一方、自治体は地域経済の活性化等を目的に省エネ・節電や再生可能エネルギー導入に積極的である。

江戸川区では、温室効果ガス削減目標を2030年度に2013年度比40%減とする「第2次エコタウンえどがわ推進計画」がスタートした。目標達成には、省エネ・節電に加え、再生可能エネルギーの積極的な導入が必要としており、行政・事業者・区民が参加する事業やキャンペーンといった施策の企画・立案が急務である。この動きを加速させるため、本会は積極的に江戸川区等に施策を提案していく。また、「パタゴニア丸の内ストア」や「みんな電力」との連携を深めながら、社会的な発信力強化に努めていく。しかし、こうした活動を展開していくには、運営を担う人材が十分ではない。イベントの企画・開催にあたっては、本会の活動に関心があり、次世代を担う人たちの参加を呼びかけていきたい。

### ●特定非営利活動に係る事業

#### 1. 家庭・地域における省エネアクションプランの作成とキャンペーンの実施

「えどがわエコセンター」低炭素社会づくり委員会に参加し省エネ・節電チャレンジやみどりのカーテンモニター事業に関わると共に、第2次エコタウンえどがわ推進計画の策定を受けて、具体的な省エネアクションプランやキャンペーンについて江戸川区やえどがわエコセンターなどに提案し、連携しながらその実現を図る。

#### 2. 地球温暖化やエネルギー等環境問題に関する研修会の実施等の啓発教育

江戸川区環境フェアに出展し、来場者に気候変動問題やエネルギー問題への啓発を行うと共に、事業の具体化に向け、総会に合わせてセミナー「住む街のエネルギー戦略を考えよう！」を開催する。また、江戸川総合人生大学への出講など、他団体が主催する学習会への講師派遣を積極的に行う。

#### 3. 市民出資による自然エネルギー発電所の建設と運営

市民立発電所やえどがわ市民発電プロジェクト“えど・そら”への視察を積極的に受け入れる。10月開催予定の市民・地域共同発電所全国フォーラム実行委員会に参画し、市民発電事業の普及・拡大に資する。また、えど・そら発電所に災害発生時の自立電源利用など活動PRを兼ねた説明版を設置し、区内泉福寺に太陽光発電を設置する「市民ソーラー@泉福寺」プロジェクトに協力していく。

#### 4. 地球温暖化防止のための地域行政、国、国際社会、市民への政策提言

「気候ネットワーク」や「eシフト」「市民電力連絡会」「グリーン連合」などが企画・主催する政策提言活動に参加していく。また、第2次エコタウンえどがわ推進計画の策定を受けて、具体的な政策提案を江戸川区等に行い、その実現をめざす。

#### 5. 気候変動枠組み条約関連会議への参加やキャンペーンの実施

「気候ネットワーク」や「ストップフロン全国連絡会」の運営に理事として参画すると共に、それらを含む団体が主催する、気候変動対策キャンペーンや再生可能エネルギーの普及拡大に向けた「パワーシフトキャンペーン」の活動に参画していく。



## **6. 政府機関、自治体、事業者、市民、NGOとの交流、連絡提携**

「パタゴニア丸の内ストア」とは自立電源づくり WS や環境フェア出展等を通じて交流・連携を深めていくと共に、再生可能エネルギーの導入促進に資する共催事業を企画・実施する。また、エコメッセ元気力発電所、さようなら原発江戸川連絡会、えどがわエコセンターの運営に参画しつつ、江戸川子どもおんぶずと連携するオフグリッドハウス松江の家の運用では太陽光発電の増設を進める。

## **7. 本法人の目的および地球環境問題全般に関する調査研究および情報の収集と提供**

当会の事業目的や活動状況を広く知ってもらうため、ホームページとフェイスブックの連動による時宜に適した情報発信に努めると共に、『あしもと通信』の計画的な発行を進める。そして、これまでの活動の中で蓄積されたデータの散逸を防ぐため、クラウドサーバへのデータ保存を試行する。また、活動に資する団体等との交流等を通じて情報を収集に努め、必要な知見の蓄積と実践を行う。

### **●その他の事業**

#### **1. 発電にかかる事業**

電力供給先である「みんな電力株式会社」との事業連携を強めことで、えど・そら発電所での再生可能エネルギー発電による電気が実際に使われ、気候変動対策に貢献することを示していく。また、事業開始から5年が経過したことから、出資者に感謝のプレゼントを贈呈すると共に、3号機の周辺住民に対しても発電状況等のレポートを配布する。

**第4号議案 2018年度予算案  
活動計算書**

(単位:円)

	非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
<b>I 経常収益</b>			
売電売上	0	2,400,000	2,400,000
会員会費収入	60,000	0	60,000
寄付金収入	100,000	0	100,000
講師派遣収入	100,000	0	100,000
その他収入	400,000	0	400,000
受取利息	0	5,000	5,000
<b>経常収益計</b>	<b>660,000</b>	<b>2,405,000</b>	<b>3,065,000</b>
<b>II 経常費用</b>			
<b>1.事業費</b>			
福利厚生費	5,000	0	5,000
広告宣伝費	10,000	0	10,000
会議費	50,000	0	50,000
備品消耗品費	30,000	30,000	60,000
修繕費	40,000	0	40,000
電気料金	0	26,000	26,000
諸会費	25,000	0	25,000
支払手数料	1,000	2,000	3,000
地代家賃	0	64,800	64,800
保険料	0	75,000	75,000
教材費	40,000	0	40,000
減価償却費	0	1,425,357	1,425,357
寄付(市民ソーラー@泉福寺)	100,000	0	100,000
支払利息	0	40,000	40,000
<b>2.管理費</b>			
会議費	50,000	50,000	100,000
旅費交通費	15,000	15,000	30,000
通信費	60,000	60,000	120,000
備品消耗品費	10,000	10,000	20,000
支払手数料	6,000	6,000	12,000
地代家賃	30,000	30,000	60,000
支払報酬料	43,200	43,200	86,400
印刷費	40,000	40,000	80,000
<b>経常費用計</b>	<b>555,200</b>	<b>1,917,357</b>	<b>2,472,557</b>
当期経常増減額	104,800	487,643	592,443
経理区分振替額			0
税引前当期正味財産増減額			592,443
法人税、住民税及び事業税			100,000
当期正味財産増減額			492,443
前期繰越正味財産			1,970,698
次期繰越正味財産			2,463,141

※返済積立金として1,440,000円(120,000円×12月)を積み立てる予定である。

## 第5号議案 定款の一部変更

特定非営利活動促進法改正に伴い、2018年10月1日より貸借対照表の公告が義務づけられるため、定款の一部を下記のとおり変更する。

<旧>

第52条（公告）

この法人の公告は、この法人の主たる事務所における掲示及び会員への郵送、及び官報においてこれを行なう。

<新>※下線部

この法人の公告は、この法人の主たる事務所における掲示及び会員への郵送、及び官報においてこれを行なう。ただし、特定非営利活動促進法第28条の2第1項に規定する貸借対照表の公告については、この法人の主たる事務所の掲示場に掲示して行う。